



大屋富士

伸びよ 豊かに たくましく

令和2年7月3日
養父市立大屋中学校
学校だより 第9号
TEL 079-669-0111

学校再開からひと月。7月に入りました。

先週6月26日(金)に生徒総会を開き、「**繋 ~ これまでの軌跡 これからの奇跡 ~**」という生徒会スローガンのもと、令和2年度の生徒会活動が始まりました。この日は、部活動での1年生の正式入部の日でもあり、何だか学校全体が大きく動き始める記念すべき日になりました。

特に1年生については、持ち前の力強さで学校での様々な活動をさらに勢いづけてくれているようで、大変うれしく思っています。1年生から3年生までそれぞれ学年のカラーは異なります。学年の中で、また学年を越えて生徒同士が声をかけ合い、心を通わせながら、学校全体として生き生きとした鮮やかなカラーを創り出していってくれることを願っています。



<生徒玄関の掲示>

学校が再開してからこれまで、生徒たちは、いろいろな姿を見せてくれます。どの生徒も毎日がコンスタントであるわけではありません。「いいね」の時もあれば、「うーん、どうなの？」という時もあります。当然です。そんな生徒たちが織り成す1日1日はまさにドラマであり、学校がまるで生き物のようになっている感じがする時があります。これはきっと、生徒のいない臨時休業中、校舎はただの箱でしかなく、グラウンドはただの広場にしか映らず、「空っぽ」を感じていたからかもしれません。



<校長室の掛け軸>

だからこそ、生徒たちと活動できることを喜び、縦や横や斜めなど、その時々に必要な角度でしっかりとかがわりながら、生徒とともに大屋中の「これから」を少しずつ着実に創っていきたいと思います。楽しく語り合うこともあれば、しみじみと話し合うこともあるでしょう。時には大声で喜び合うこともあれば、思いがすれ違ってしまうこともあるでしょう。そんな繰り返しが人と人との関係をさらによりよいものにし、人を大きく成長させてくれるものと信じています。

そのためにも、まずは目標を定め、願いを共有した上で、日々の活動を通して信頼関係を築きながら、教師と生徒それぞれの力がぐいぐいとより合って、学校教育目標に掲げる「活力」の育成につながるよう力を尽くしていきたいと思えます。このひと月の生徒たちの様々な姿から、そして先生方による生徒との様々なかかわりから、「**人は人とのかかわりの中で人になる**」という言葉を久しぶりに思い返した6月でした。

舞鶴高専の玉田先生による特別授業を実施しました

「やぶ・ふるさとキャリア教育」の一環として本校が昨年度から取り組んでいる「加保坂46プロジェクト」。本年度の第1回目を、6月30日(火)に3年生を対象に実施しました。

このプロジェクトについての詳しい説明は、本校のホームページをご覧ください。

今回の分野は「工学」。天滝に向かう遊歩道に架かるあの赤い「トラフ橋」の復旧にまつわる取組をもとに、工学の面白さやその意義等について講義を受けました。講師は、舞鶴工業高等専門学校の玉田和也 教授 です。蝶ネクタイが印象的な「橋の専門家」です。



トラフ橋について説明される
玉田先生



豊岡道の養父に架かる
アーチ橋も紹介されました



橋にも構造的にいろいろな
種類があるというクイズ

「工学は、人を助け、人に役立つ仕事です。そして100年先にも残る仕事です」と話されながら、ご自身が設計に携われた全国の数々の橋を楽しそうに、わかりやすく紹介される姿は、まさに「プロフェッショナル」そのものでした。



ダ・ビンチの橋をまずは模型
で作成。なかなか難しい！



大型のダ・ビンチの橋を
みんなで実際に作って見た！



完成したダ・ビンチの橋と
ともに、みんなで記念撮影！

梅雨です。やっと部活動が本格化し始めたのに、外は雨。そんな日の野球部と女子ソフトテニス部の様子です。



バレーボールコートの外で
テニスボールを使った捕球練習

生徒玄関から体育館への狭い通路を
生かした一本打ち練習

<ご案内>

来る7月5日(日)は、今年度最初の授業参観日です。

臨時休業が明けて1ヶ月が経った生徒の学習に取り組む姿をぜひ、ご参観ください。授業後は、懇談会等もありますので、引き続きご参加ください。

当日は、マスクの着用、ソーシャル・ディスタンスの確保等にご協力をお願いします。